

(1) 梅田映画劇場全景圖。向つて左が北野劇場、右は梅田映画劇場で地階にニュース小劇場がある。

## 梅田映画劇場新築工事

新らしい大阪の都心を縦貫する唯一の廣路御堂筋を北に扼するところ、大阪の玄關口とも云ふべき場所に1,600坪の敷地を擁して三つの劇場が誕生した。即ち演劇を主とする北野劇場、映畫を主とする梅田映画劇場及びニュース映畫を主とする梅田地下劇場がそれである。此三劇場は各個が獨立した機能を充足すると同時に大劇場主義と小劇場主義の特長を整理擴充せんとする意圖のもとに計画されたもので、其工事の概要は次の通りである。

所在地 大阪市北區角田町十二番地  
敷地面積 1,585.826坪(北野劇場、梅田映画劇場の合計)

建坪 1,264.238(〃)  
延坪 4,688.402坪(〃)

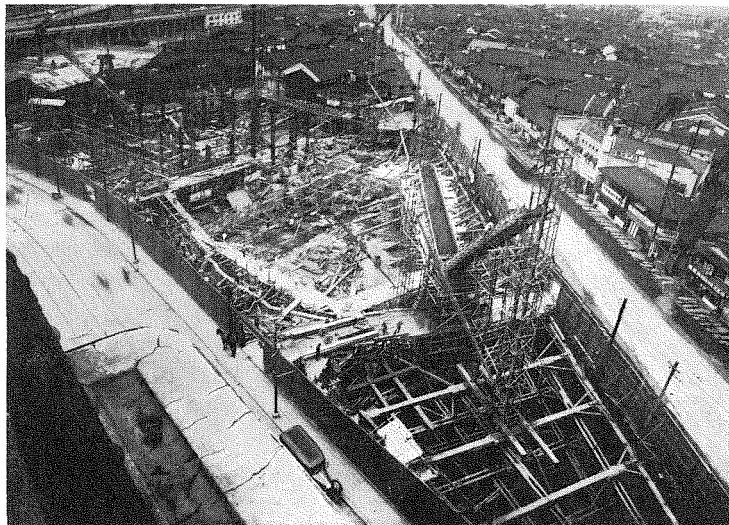
### 内譯

第2地階	359坪69
第1地階	1,161坪609
第1階	1,264坪238
中2階	305坪574

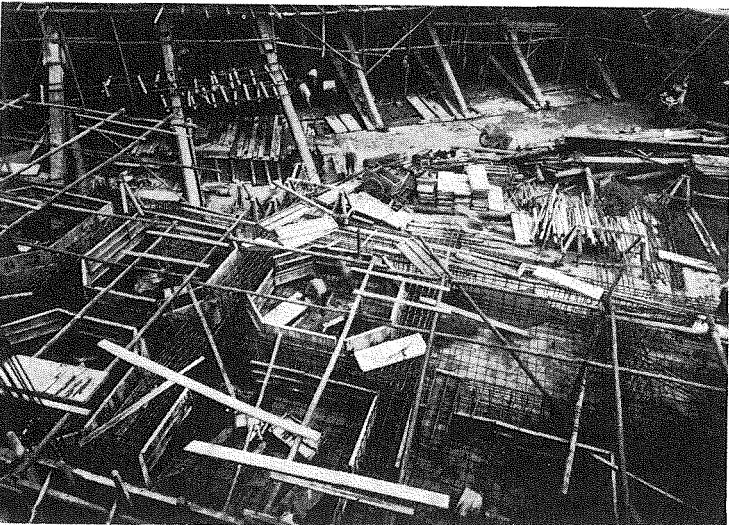
高サ	第2階	670坪679
	第3階	647坪149
	第4階	211坪200
	塔屋	68坪263
正	面	53尺0
舞臺	側	69尺0
塔	屋	85尺5(北野劇場)
		75尺5(梅田映画劇場)
樂	屋	61尺0
觀客定員	4,140人(三館合計)	
(A)	北野劇場	1,610席
	内譯	
	1階	976席
	2階	634席
(B)	梅田映画劇場	1,942人
	内譯	
	1階	椅子席 1,027席
		立見席 160人
	2階	椅子席 694席

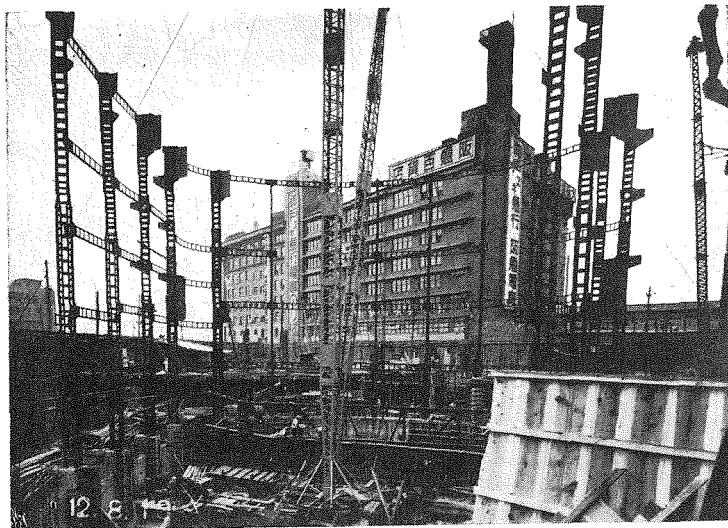
	立見席	61人	
(C) 梅田地下劇場	588席		賣店、便所(樂屋)
各階配室			第3階 觀覽席、休憩室、賣店、便所(映寫室、事務室)
(A) 北野劇場			屋上 遊歩露臺
第2地階 (瀧水槽、ポンプ室、淨化槽)			(C) 梅田地下劇場及地下街
第1地階 公衆食堂、廚房、携帶品預り場、下足傘預り場(電氣室、ポイラー室、空氣調整装置室、蓄電池室、大道具工作室、樂手室、交換室、奈落、從業員控室)			第1階 直通階段三ヶ所、出札室
第1階 玄關、廣間、出札室、前賣券賣場、休憩室、賣店、公衆電話室、便所、觀覽席、舞臺(事務室、放送室、監督室)			第1地階 地下街廣場、出札室、便所、映寫室、公衆電話
中2階 觀覽席、休憩室、賣店、便所(事務室、樂屋、投光室)			
第2階 觀覽席、休憩室、便所、賣店、喫茶室、婦人休憩室、醫務室、屋外遊步場(投光室、事務室、樂屋)			
第3階 觀覽席、休憩室、便所、賣店、豫備室(映寫室、アトリエ)			
第4階 豫備室			
屋上 遊歩露臺			
(B) 梅田映畫劇場			
第1階 玄關、廣間、出札室、賣店、休憩室、便所、觀覽席(舞臺)			
中2階 觀覽席、休憩室、賣店、便所(投光室)			
第2階 觀覽席、休憩室、			

(2) 阪急百貨店屋上より工事場を見る、6月24日の撮影。鐵骨を建てゝゐるのが北野劇場。基礎工事中が梅田劇場

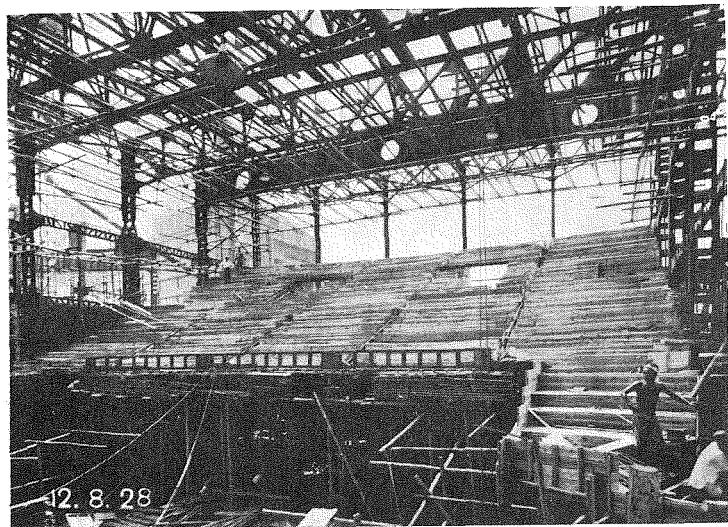


(3) 梅田映畫劇場 基礎配筋、地盤より35尺下。





(4) 梅田映画劇場鐵骨組立狀況。前方は阪急百貨店。



(5) 梅田映画劇場二階觀覽席假枠工事。

#### 第2地階 觀覽席、舞臺、休憩室

##### 構 造

基礎は其最深部に於て30尺堀下げ松杭徑1尺長さ80尺又は70尺のものを總數92本打込み深度100尺以下にある硬質地盤に達せしめ、其上に鋼骨筋筋コンクリート構造の軸體工事が施工された故、耐震は勿論耐火に就ても萬全の注意を拂つた。

尚工事中其深度20尺位の所から、貝殻類や土器等

舞臺間口は54尺、高さ25尺、奥行59尺の最も演技し易き面積であつて、徑8間の廻り舞臺と日本で最初の企てである廻り舞臺が用意されてゐる。

廻り舞臺は巾12尺長さ30尺で迫りとして上下に昇降し、且つ左右に移動する様に裝置され此外大小10ヶ所の迫りが電動裝置により上下するので、明日への劇である立體的にして、且つ多角的演技に充分の機能を發揮し得る様になつてゐる。

が發掘されたが、古代大阪の地層の幾變遷を物語るものとして深き興味を覺るものがある。

##### 外 観

外觀は舊來の劇場建築の持つ因習的形式を離れ虚飾を排した獨自の新興形式のもので、黒色を大膽に驕使して、主壁淡黃色の色調に對し調和せしめ建物の個性を強く表現してゐる。

##### 内 部 概 要

###### (A) 北野劇場

西側に表玄關を配し靴、草履の觀客は直接ホールに通じ下駄履の客は北側階段により地階下足預り場を經由して1階ホールに至り觀覽席に案内される様になつてゐる。

ホールは相當華美な色彩を以て裝飾され、入口上部のパネルには漆モザイックを以て東京寶塚劇場、有樂座、名古屋寶塚劇場、京都寶塚劇場、及び當北野劇場等の建築を圖案化したるものが表微されてゐる。

觀覽席内部は天井、壁共凡て吸音材を以て被覆し、これに明朗なる色彩を施し、大天井の間接照明と相俟つて新時代の劇場美が具象された。

2階には豪華なる喫茶室の設備があり、其外の休息室の壁には歌舞伎隈取模様がリノウォールに象嵌され、3階廣間に源氏香が絵模様に象嵌されてゐる。

(B) 梅田映画劇場

表玄關は北野劇場と同じく西側に面し、土民の儘廣間を通じて観覧席に案内される様になつてゐる。

場内の裝飾は映畫藝術の持つ近代的感覺に相應しき直截簡明なる様式を探り、觀覧席内部は北野劇場に比し更により簡明なる裝飾をなし、特に大天井の照明は三色の電灯を配し其色彩より来るハーモニーは觀者をして自ら恍惚たらしむるものがある。

舞臺は間口48尺、高さ23尺、奥行40尺にして直徑5間の廻り舞臺が裝置されてゐるので、劇場としての機能を立派に果し得る様諸種の設備が準備されてゐる。

(C) 梅田地下劇場、梅田地下街

梅田地下劇場は地下27尺の第2地階にあり、1階より3ヶ所の直接階段を通じ地下街を経て觀覧席に至る様になつてゐる。觀覧席内部の裝飾は大體上記館に準じ、照明は天井の光築の外直接スポットライトにより客席を直上より照射する新らしい照明法が裝置されてゐる。

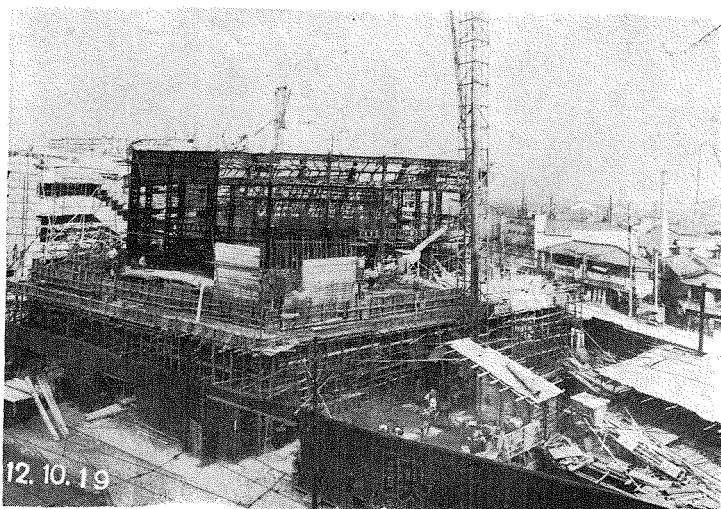
舞臺は間口30尺、高さ15尺、奥行20尺あり、相當のバラエティーを上演し得る裝置も施されてゐる。特に空氣調整設備には意を用ひてゐるので、長時間の觀覽にも何ら疲勞を覺へることはない。

地下街は3館に關係なく一般の方々の自由に入場し得る様になつてゐるので散策に、雨宿りに、買物等に且又公衆大食堂の設備と相俟つて異色ある大阪新名所を現出するであらう。

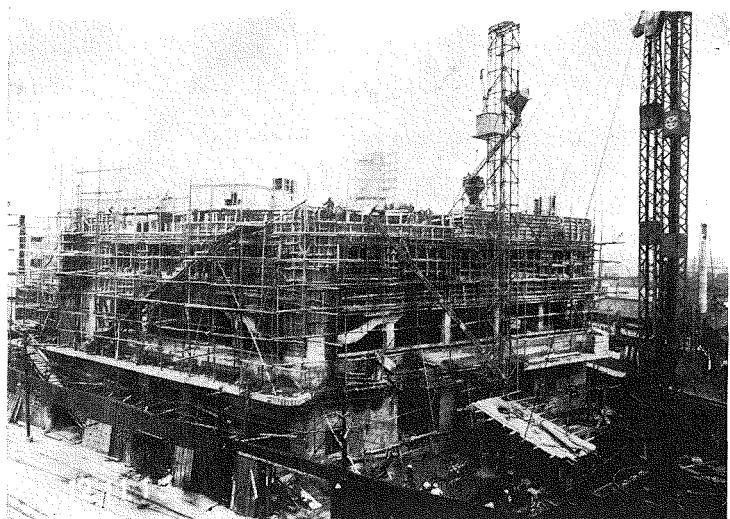
非常設備

觀覧席と舞臺との間には鐵製大火幕があつて、非常の場合には約40秒間にて客席と舞臺と完全に遮断し得る様設備されてゐる。非常口は3方に開かれ

(6) 梅田映画劇場鐵骨組立完了、背後にコンクリートを終つた北野劇場が見える。



(7) コンクリート工事を終つた梅田映画劇場。





(8) 北野劇場全景。

(9) 梅田映画劇場平面図。

分ならずして満員の際と雖も完全に避難することが出来る。

消火栓は各所に配置され、且つ火災報知機により直接消防署へ連絡があるので、瞬時の内に消火の目的を達し得る様萬全の準備がなされてある。

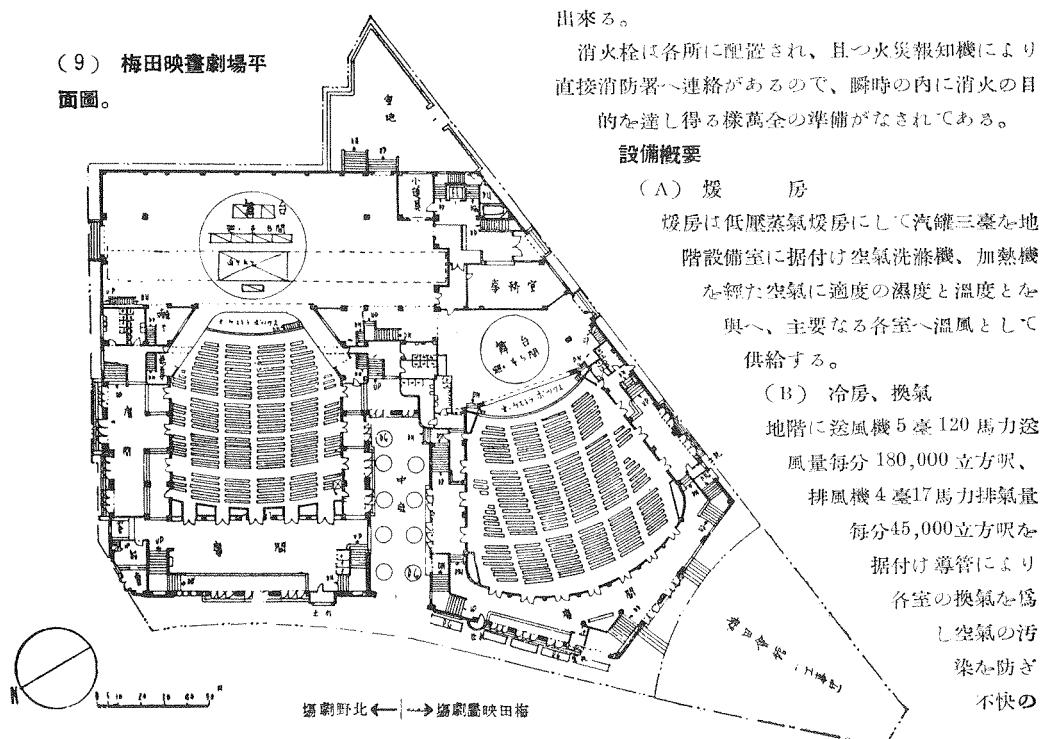
#### 設備概要

##### (A) 煙房

煙房は低圧蒸気煙房にして汽罐三臺を地階設備室に据付け空氣洗滌機、加熱機を経た空氣に適度の湿度と溫度とな  
くへ、主要なる各室へ温風として供給する。

##### (B) 冷房、換氣

地階に送風機5臺120馬力送風量毎分180,000立方呎、排風機4臺17馬力排風量毎分45,000立方呎を据付け導管により各室の換氣を爲し空氣の汚染を防ぎ不快の



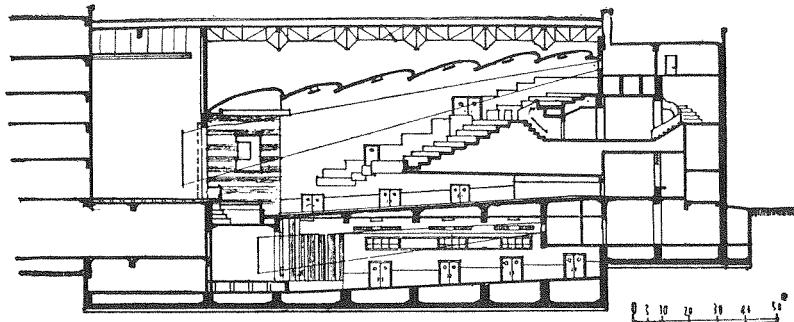
感を與へない様にしてある。

冷風装置は冬期に於ける温風暖房の設備を利用し、通風塔よりの新鮮なる空氣を瀧水槽を経た鑿泉水にて洗滌したる後、冷凍機(480噸)

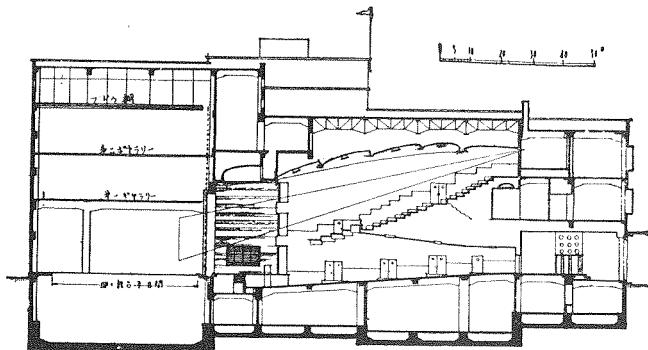
に依つて冷却し前記送風機によつて各室に送る。

#### (C) 電 燈

電燈及動力用として二異系統の發電所より60サイクル3300ボルト、二回線を引込み別に地階に蓄電池室の設備があり、停電時にも此設備によつて、何等劇場の機能を停止することのなき標準準備されてゐる。



(10) 梅田映畫劇場断面圖。



(11) 北野劇場断面圖。

(12) 北野劇場内部、1階観覧席より舞臺を見る。

